

## 第一弾

### 「島原鉄道赤パンツアー」

文責：JT

実施日：2022/12/24

路線：島原鉄道線

2022年12月24日、長崎県の島原鉄道で「赤パンツアー」と銘打った貸切列車を運行した。この特別な体験は、私にとって夢の実現であり、鉄道ファンなら一度は憧れる「自分専用の列車」を仕立てたものです。当日は、クリスマスイブという特別な日に相応しい、充実した時間となった。

事前準備では、島原鉄道に問い合わせを行い、個人でも団体専用列車が貸切可能であることを確認。貸切車両には、島鉄標準色の「キハ2505A」、通称「赤パンツ」を指名した。この車両は引退が噂されており、最後の活躍を見届ける意味も込めて貸し切ることを決定した。利用区間は島原船津駅から古部駅までの往復3時間で、料金は約10万円。参加者は筆者の知人を中心に、九州内外から16名が集まった。

運行当日は、前日に長崎県で珍しい大雪が降り、貸切列車の運行が危ぶまれたが、天候は回復、無事に臨時列車「赤パンツアー号」は定刻通りに出発した。また、行先方向幕には全国的にも珍しい「貸切」の幕が表示された。車内では、筆者のアイデアで放送マイクを使用して「アルプスの牧場」の車内メロディを流し、参加者同士で和やかに弁当を楽しむ場面もあった。



▲ イベントのスタートを待つキハ2505A。当日は天気が持ち直したため無事にイベントを実施することができた。

▼ 貸切列車の車内。車内は和気藹々とした雰囲気に包まれていた。また、貸切イベントを実施するにあたり中吊り広告は外してもらった。







▲ 大三東～松尾駅間での撮影会。貸切イベントを実施するにあたり用意したオリジナルヘッドマークを掲げての実施となった。参加者の皆様からは好評を博した。

▼ 古部駅での撮影会。「急行」幕のほかにも、「快速」幕や定期列車での設定がない「多比良」幕の掲出があった。背景には、多良岳と有明海の姿も。



旅程の途中、大三東駅や古部駅で撮影会を実施した。特に古部駅では、「急行」や「快速」など設定のない方向幕を特別に表示し、美しい有明海と多良岳を背景に写真撮影を楽しんだ。また、手信号と手動ポイント転換を用いた入換作業の様子も見学でき、参加者にとって貴重な体験となった。

列車にはオリジナルヘッドマークが装着された。今回は紙に印刷したデザインを既存のマークに貼り付ける形であったが、「しまばら号」のデザインを参考にし、制作した。このヘッドマークは参加者の皆様からも好評を博した。

復路でも大三東駅に停車し、潮が引いた有明海を背景に列車を撮影するなど、特別感あふれる時間が続いた。列車内ではミニじゃんけん大会が行われ、島鉄グッズや長崎名物のカステラが参加者に配布した。和気あいあいとした雰囲気のまま、列車は終点の島原船津駅に到着。あっという間の3時間が過ぎた。

関係者への感謝とともに、このような特別な体験がさらに広がり、貸切列車の魅力発信につなげたいという思いはここから始まる。

貸切列車同好会「めーぷる」の原点、それが、この赤パンツアーだ。

写真：すべて筆者撮影

※なお、この赤パンツアーの詳細は、鉄道ファン 2023 年 4 月号にて代表の執筆記事を読んでいただきたい。

※この貸切イベントは、貸切列車同好会「めーぷる」として実施したものではなく、高校時代の代表個人活動として実施している。

交通たび企画  
めーぷる